



The Japanese Society for Transplantation

令和2年7月27日

厚生労働省健康局 難病対策課
移植医療対策推進室長
井口 豪 殿

一般社団法人 日本移植学会
理事長



要望書

平素より、移植医療に関してご指導賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月、肝腎同時移植の際にドナーと待機者のクロスマッチが陽性の場合においても腎臓のあっせんが可能となるように基準の変更をご検討いただきたい旨、要望させていただきました。

肝腎同時移植待機者への臓器のあっせんにおいては、上記クロスマッチに関する項目の他に、C型肝炎抗体陽性ドナーからの提供の場合、肝臓・腎臓両臓器のあっせんが不可となることがあります。

これはドナーがC型肝炎抗体陽性であった場合、肝臓移植希望者（レシピエント）選択基準においてはC型肝炎抗体に関する条件は設定されていませんが、腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準においてはC型肝炎抗体陽性の移植希望者のみが腎臓のあっせんの対象となる為です。

近年、抗C型肝炎ウイルス薬開発が進歩し、治療成績が飛躍的に向上しており、またC型肝炎抗体陽性ドナーからの肝腎同時移植に関して諸外国から良好な成績が報告されています。（参考資料参照）

これらの現状に鑑み、「肝腎同時移植においては、移植希望者のC型肝炎抗体の有無に関わらずC型肝炎抗体陽性ドナーからの腎臓のあっせんを可能とし、その上で移植施設は慎重に適応を決定する」ことが可能となるように、下記の如くレシピエント選択基準を改正することを要望いたしますので、ご検討のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準

1. 前提条件

（4）C型肝炎ウイルス（HCV）抗体 C型肝炎抗体陽性の臓器提供者（ドナー）から提供された腎臓は、C型肝炎抗体陽性の移植希望者（レシピエント）のみを対象とし、リスクについて十分に説明し承諾を得られた場合にのみ移植可能とする。ただし、肝腎同時移植希望者（レシピエント）の場合には、C型肝炎抗体陰性の移植希望者（レシピエント）も対象とし、慎重に適応を決定したうえで、移植を実施する。

以上

The Japanese Society for Transplantation

一般社団法人 日本移植学会

Association for Supporting Academic Societies
4F, 5-3-13 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0012 JAPAN
Phone+81-3-5981-6011 FAX+81-3-5981-6012
E-mail : ishoku@asas-mail.jp

〒112-0012 文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル 4F
一般社団法人学会支援機構内
TEL : 03-5981-6011 FAX : 03-5981-6012
E-mail : ishoku@asas-mail.jp